

寄せられたご意見とそれに対する市の見解

1 名の方より8件のご意見を頂戴しました。

| 項目 番号 | ご意見 | 市の見解 |
|----------|---|--|
| 1 | <p>■基本方針について 建築家 坂茂 の言葉に 「地震で人は死なない。建築が崩れて人が死ぬ。」がある。</p> <p>救える命が目の前にある。耐震改修は最優先で本気でやるべき。</p> <p>震災が起きたら無条件に人命救助する。 避難所、仮設住宅、解体・瓦礫処理、等も公費で賄う。 人命と震災後の費用・労力を考えたら、耐震改修の助成は大幅に拡大すべき。 耐震改修で火災発生と延焼も激減する。</p> | <p>いただいたご意見を参考に、耐震化を促進してまいります。</p> |
| 2 | <p>■目標について 現状の木造住宅の耐震化率 町田市は 63.8% →(3 軒に 1 軒が危ない) 東京都は 82.6% →(6 軒に 1 軒が危ない) 令和 12 年度住宅耐震化率の目標 町田市は 79.4%、東京都は 95% 都と同レベルを目指すべき。</p> | <p>東京都は「81-00 住宅」の半数以上が安全であると仮定して耐震化率を試算していますが、町田市の実績では安全性が確認された事例がなかったため、市はより厳しい条件で現状を評価しております。</p> <p>その上で、実現可能性を考慮しつつ、都の目標(3.7%向上)を上回る「耐震化率 3.8% 向上」を目標に設定いたしました。</p> |
| 3 | <p>■より多くの命を救う為、対策は木造住宅に絞り込むべき。</p> | <p>木造住宅をはじめ、対象とした建築物の耐震化を促進してまいります。</p> |
| 4 | <p>■耐震改修の啓発について ・住民に震災の怖さを強く認識してもらう事が全ての始まり。啓発を最重点に。特に、計画1年目。</p> <p>・言葉や写真では倒壊の怖さ、耐震改修の効果の伝達が困難。 実大実験の動画を見てもらうのが、一番伝わると思う。例えば 日本建築防災協会 HP→耐震支援ポータルサイト→耐震化のすすめ方 木造住宅の耐震化について→耐震診断・耐震改修とは？(木造住宅)→「耐震改修の効果」(映像)</p> | <p>いただいたご意見を参考に、周知・啓発を図ってまいります。</p> |

| | | |
|---|--|---|
| | <p>倒壊までに逃げる時間などないのも分かる。</p> <p>対象住宅以外の市民も見て、知って欲しい。 市議会議員も。</p> <p>日本建築防災協会 HP には、他にも、動画、ツールなど有効な情報が多数有。</p> <p>・耐震改修 DM は対象の木造住宅3万8千戸に毎年送付がいい。毎年 4,000 は少ない。</p> <p>・P32 に広報・ホームページ等を活用した普及啓発をしているとあるが、例示の広報記事に耐震改修の記載無し。町田市 HP「防犯・防災」→「町田市の地震対策」を開いても耐震改修は無し。冊子「命を守るための まちだ防災」にも耐震改修の記載無し。</p> <p>これでも普及啓発してる？ 広報に動画視聴方法等掲載、HP の構成・表示方法改善など真剣に検討要。</p> | |
| 5 | <p>■簡易耐震診断について</p> <p>・対象の全ての木造住宅所有者に、簡易耐震診断で自宅の耐震性を認識してもらう事が重要。</p> <p>「無料」が広報・HP 等で一目で分かるように。</p> | <p>いただいたご意見を参考に、周知・啓発を図ってまいります。</p> |
| 6 | <p>■精密耐震診断以降の助成について</p> <p>・大幅増額すべき。</p> | <p>助成額については、昨今の経済状況なども加味して制度の改正を予定しております。</p> |
| 7 | <p>■精密耐震診断以降の助成について</p> <p>・賃貸が助成対象外なのは？ 賃貸に住む人の命は守らない？</p> | <p>賃貸住宅の耐震化につきましては、所有者の皆様において責任を持ってご対応いただきたいと考えております。</p> |
| 8 | <p>■精密耐震診断以降の助成について</p> <p>・81-00 住宅は精密診断で倒壊の危険でも、設計・工事の助成をしないのは？</p> | <p>81-00 住宅への耐震化支援の拡大については、素案本編 27 ページで「旧耐震基準の木造住宅と同様の考え方で支援」することを示しており、耐震改修工事も助成対象とする予定でございます。</p> |